


災害時の避難所について

粟津町内会長 菅野 信成

今年の暑さは盛夏とはいえ耐え難い酷暑ですね!! お見舞い申し上げます。  
 とにかく熱中症対策（こまめに水分補給、屋外は必ず日除け、室内ではエアコン  
 27~28℃）に気を配っていただいて、この暑さをやり過ごしましょう。

さて、7月6~7日の西日本豪雨では、広島県・岡山県・愛媛県・他県を含めて  
 223名の尊い命が奪われました。安否不明者も15名。亡くなられた方々のご冥福  
 をお祈りするとともに、不明者が無事であることを祈願しています。

又、被災されこの炎天下、後片付けの作業に携わっておられる被災者とボランテ  
 ィアの方々にもお見舞い申し上げます。

一方、加古川市では避難勧告が7日11:50に発令されました。同時に町内会長  
 に配布されている防災連絡ラジオも起動しました。町内会長としての行動は、  
 ①市役所危機管理室に状況の確認→②民生児童委員に担当地域の避難希望者の確認  
 →③希望者があれば手分けして避難を手助け（今回はなかった）避難所へ  
 ※今回の加古川町の開設された避難所は加古川小学校・加古川公民館ではなく野口  
 小学校でした。現実として加古川公民館にも5名の方が避難されましたが、市の指  
 示により野口小学校に移動するか、自宅に戻るかで混乱したようです。

粟津町内の災害時の避難場所については、加古川小学校、公民館、加古川東高校  
 のいずれかと皆さんは思っておられるでしょうが、災害の内容によって避難所が異  
 なることを今回の避難勧告で改めて認識することになりました。

1. 地震発生時＝加古川小学校運動場へ、体育館の安全確認後館内に誘導
2. 洪水発生時＝垂直避難（2階以上に） マンション等は2階以上（自宅待機）

平屋建て住宅の方は、近隣の友人・知人宅の2階へ避難させていただく。+  
 ※そのためには、普段からのお付き合いが重要です。町内会やその他の  
 行事に参加して、気さくに話ができる人間関係を築きましょう。

3. 避難時は、最低限の食糧と水を持参しましょう。（2日分程度）
4. 避難所生活は非常に大きなストレスを受けます。最短で自宅に再避難が良。
5. 市の危機管理室も今回の事態を参考に、避難について見直しを図るようです。  
 追伸；洪水についてはバンバンTVの河川情報が判断の参考になります。